

## 2. リモートセンシング

- 限られた予算の中で注力すべき分野を見極めた上で集中的かつ継続的にリモートセンシングの開発及び利用に取り組みがなされているか。
- デュアルユースや官民連携等を通じた商用利用の拡大など、より効果的かつ効率的なリモートセンシング衛星の開発、運用及び利用の在り方が戦略的に検討がなされているか。
- 仕様設定から成果の評価に至るまで利用官庁が主体的に事業に関与して関係府省が連携して技術開発等の推進がなされているか。
- 陸域観測衛星については、リモートセンシング衛星の運用や画像提供に関する産業化に向けた取り組みを加速化すべく検討がなされているか。

- リアルタイム地球観測網としての「ASEAN防災ネットワーク」の実現に必要な技術的・国際的な対応を関係府省の連携がなされているか。
  
- ASNARO、ASNARO2及びALOS-2については、それらの運用上の連携を図るため、衛星投入軌道の調整、衛星の相互運用や撮像キャパシティの全体管理などを連携して行うことにより、画像販売上効率的なマーケティングができるように運用主体が選定されているか。
  
- 陸域観測衛星については、官民連携等の民間活力を活用することにより政府の経費の節減が検討されているか。

[ リモートセンシング衛星 ]

- リモートセンシングの開発は、各省がそれぞれの政策目的に応じて実施中。
- 利用においては、海外からの商用衛星画像の購入、分析や利用関連設備の維持が主な経費。

(単位:百万円)

分野	府省	施策名	24年度予算額	
リモートセンシング衛星	開発			
		内閣官房	情報収集衛星関係経費	63,002
		文部科学省	衛星利用推進関連経費(リモセン衛星)	3,988
			地球観測衛星開発費(補助金)	11,007
		経済産業省	ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	1,800
			石油資源遠隔探知技術の研究開発	870
			極軌道プラットフォーム搭載用資源探査観測システム/次世代合成開口レーダ等の研究開発	80
			次世代地球観測衛星利用基盤技術の研究開発	530
		国土交通省	静止気象衛星業務等	8,443
		環境省	いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	1,352
	利用			
		内閣府	総合防災対策経費	428
		警察庁	高解像度衛星画像解析システムの運用等	787
		外務省	衛星画像分析	193
		文部科学省	衛星利用推進関連経費(通信衛星及びリモセン衛星開発を除く)	6,825
		農林水産省	農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	52
		国土交通省	人工衛星の測量分野への利活用(リモセン分野)	97
環境省	衛星による地球環境観測経費	692		
	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による地球環境観測事業	120		
防衛省	商用画像衛星等の利用	7,849		

# 情報収集衛星の開発・運用事業

事業期間（平成10年～）  
平成24年度予算額63,002百万円（平成23年度予算額83,492百万円）

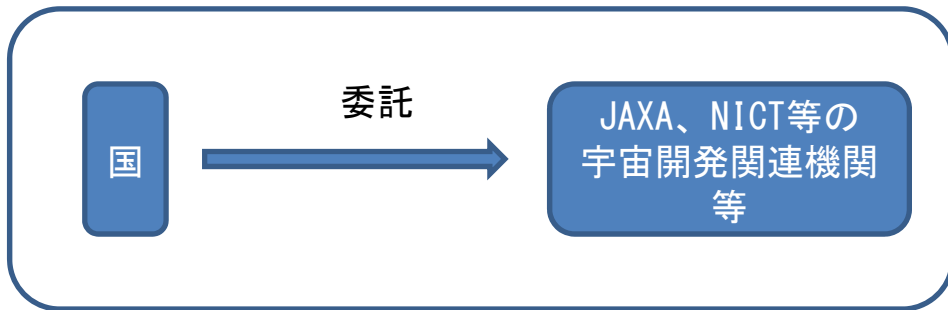
内閣衛星情報センター  
03-3267-9500

## 事業の内容

### 事業の概要・目的

- 外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的として、情報収集衛星の開発・運用を行います。
- 内閣衛星情報センターは、内閣官房内閣情報調査室の下に設置された機関として、内閣情報会議（議長は内閣官房長官、委員は各省次官級、我が国のインテリジェンスに係る基本方針等を総合的に検討。）等に従い、情報収集衛星の計画的な開発・打上げ及び運用を行います。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

- 地球上の特定地点を1日1回以上撮像できるように、光学衛星2機・レーダ衛星2機から構成される4機体制を早期に構築し、この体制を安定的かつ継続的に維持するため、計画的に情報収集衛星の開発・打上げを行うとともに、宇宙基本計画に基づき、情報の質・量・即時性の向上等により、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図ります。

### ＜今後の打上げ予定＞

- ・平成24年度：レーダ4号機
- ・平成26年度：光学5号機、レーダ予備機
- ・平成28年度：光学6号機、レーダ5号機
- ・平成29年度：レーダ6号機

- 官邸及び各省からの情報要求等を受けて、情報収集衛星による撮像を行い、必要な判読・分析を加えた結果を、官邸及び関係省庁に提供します。

